

駒大 010 000 000 =1
立正大 032 001 00x =6

打線封じられ、

開幕戦黒星スタート

駒大1-6立正大

1回戦

2016年度春季リーグ戦
第1週 4月5日
0勝1敗

打安点		
(8)米満	200	
(6)菅野	200	
(7)長谷川	400	
(9)青地	400	
DH森下	410	
(5)岡田	400	
(3)巴山	420	
(2)長	300	
PH高石	100	
(4)福山	311	
PH松尾	100	
計	3641	

回 打安責	
●東野	6 2995
中川	2 810

2回、相手の失策と巴山颯太郎(法2)の左中間安打で1死一、三塁とすると、福山慎吾(菅4)の右前適時打で1点を先制する。援護を受けた先発の東野龍二(商3)はその裏、先頭打者を三振に仕留めたものの、続く打者に連打を浴びる。そこに捕逸や味方の失策、盗塁も重なり3点を失うと、3回と6回にも四球などでリズムを崩し追加点を奪われた。

西村亮監督は東野を「悪いリズムを断ち切れ

初戦の相手は、昨秋2部リーグ5位の立正大。2回に先制点を奪うものの、その後先発の東野が流れに乗ることができず6失点を喫す。一方打線も相手投手の好投に阻まれチャンスをつかめず1点どまり。悔しい黒星スタートとなった。



先制打を放った福山

る投球が長所」と評価するものの「それができなければ(今日みたいに)崩されてしまう」と投球を振り返った。またここぞという場面での一本が出なかつた打線については「相手投手にどう対処していくかということができなかつた」と苦い表情を浮かべた。

「負けを引きずらず明日以降につなげていきたい」と語った高橋亮介主将(法4)。東野の後を任された中川は2回を無失点で抑える好投を見せた。反省点をどう改善するかが今後の試合を大きく変えていくだろう。

文・写真：寒川朋子

2回戦

2016年度春季リーグ戦
第1週 4月6日
0勝2敗

完封負け…

連敗で勝ち点落とす

立正大 100 110 100=4
駒大 000 000 000=0

立正大4-0駒大

2戦目の先発マウンドを任されたのは谷中文哉(商4)。初回、四球で走者を出すと、1死二塁の場面、右前適時打を浴び、1点を先制される。

その後も制球が定まらず、6回3分の1を4失点でマウンドを降りた。制球が定まらなかつたことについて谷中は「球が高めに浮いて修正ができなかつた。調子が良かったスライダーを打たれたことで、考えすぎてしまった」と原因を語った。

反撃したい打線であったが、相手投手の好投に

勝ち点奪取のためには絶対に負けられない2回戦、先発の谷中は初回に先制点を許すと、7回までに4点を失う。反撃したい打線であったが、好機を生かせず無得点。初戦に続き大差で敗れ、勝ち点を落とした。

打安点	
(8)米満	400
(6)菅野	200
PH高橋優	100
(7)長谷川	300
(9)青地	320
DH森下	200
(5)岡田	200
PH高石	100
5中道	000
(3)巴山	300
(2)長	100
PH松尾	100
PR酒井良	000
2高橋亮	100
(4)福山	310
計	2730

回 打安責	
●谷中	61/3 2974
高橋由	12/3 700
白崎	1 410



先発を任された谷中

文・写真：宮本拓実

阻まれ、4回まで無安打に抑えられる。

好機が訪れたのは6回裏、相手の失策と福山慎吾(菅4)の右前安打で1死一、三塁とするが、三塁走者が牽制死。後続も続くことができず、無得点に終わった。

7回以降も相手投手を攻略することができずに3安打完封負け。連敗で勝ち点を落とした。